

林業普及週間現地情報 (5/15～5/19)

森林管理課

平成27年度帯状伐採箇所の天然更新の状況

7月14日 (金)

八重山農林水産振興センターは平成29年5月19日、平成27年10月に帯状伐採（伐採面積0.08ha）を行った石垣市字白保の県営林内の伐採箇所において、森林資源研究センターと共同で天然更新の状況を調査した。

調査は5メートル×8メートルの方形区を4箇所設置して行い、それぞれに生育している樹木の樹種名、樹高、胸高直径を計測した。調査結果（速報）は表1のとおりであった。

表1 調査結果（速報）

調査箇所	出現樹種数	本数（本）	樹高（m）		胸高直径（cm）	
			最小値	最大値	最小値	最大値
plot1	6	64	0.5	3.7	1.2	5.2
plot2	6	54	0.5	5.0	1.6	6.5
plot3	4	96	0.5	4.5	1.1	6.0
plot4	6	43	0.3	5.6	1.3	6.6

伐採後約1年半が経過した現時点で、早生樹種として有望なカラスザンショウとウラジロエノキが優先している状況にあり、平均密度は約16,000本/haであった。

また、樹高は高いもので5メートルを超え樹冠は鬱閉しており、既に下刈りは必要ない状況で、八重山地域の森林の生産力の高さが垣間見られた。

今後は、除伐区と対象区を設け継続して調査を行って行く考えである。



(報告者：八重山農林水産振興センター 佐喜眞、吉田)